

会報誌 「しほこの樹」

第7号



【村松志保子助産師顕彰会とは】

明治・大正時代に女医から産婆になり、博愛精神に基づいた福祉活動や女性の地位向上に貢献した村松志保子の功績を顕彰し、その精神と志に根ざした活動を実践した助産師（産婆）を表彰し、その志を継承した活動を通じて地域社会に貢献することを目指しています。現在、会員105名で活動を行っています。

石碑：「母子と助産師の碑」 松前・高忍日売神社で除幕式 ／愛媛

毎日新聞 2012年05月27日 地方版より抜粋

明治時代の助産師、村松志保子さんを記念した石碑「母子と助産師の碑」の除幕式が26日、松前町徳丸の高忍日売（たかおしひめ）神社であった。村松志保子助産師顕彰会（南野知恵子会長）に所属する助産師など約40人が参加した。

村松志保子さんは博愛の精神で助産活動に取り組み、助産師教育にも尽力した。同会は2005年に功績を後世に伝えようと設立。全国の助産師の顕彰、支援活動を展開している。活動の一環として今回、日本で唯一助産師の神をまつる同神社に石碑を建立した。

除幕式のあいさつで、南野会長は「助産師の支援を通じて、世界中のすべての母子と家族に幸福が、また世界中に平和が到来することを願っています」と語った。記者：大東祐紀（記）



レリーフ

碑の母子と温かく見守る助産師の姿のレリーフ像は、造形美術家の野口晴朗氏（千葉県在住）のご厚意により作成していただきました。



会のアイドル“きんちゃん”



高忍日賣神社（たかおしひめじんじや）

所在地：愛媛県伊予郡松前町大字徳丸387

電話：089-984-8212

交通：JR予讃本線「北伊予駅」から徳丸方面へ徒歩15分、道後温泉より車で約30分

ろうけん隅田秋光園の敷地内には、秋光園ゆかりの人達の記念碑があります。村松志保子氏の記念碑も設置されており墨田区の歴史を垣間見ることができます。

ろうけん隅田秋光園は、隅田川沿いにある両国の介護老人保健施設です。

江戸っ子気質を持つ下町の情緒が残る志保子ゆかりの地である墨田区、両国周辺を散策しながら、村松志保子記念碑を



介護老人保健施設 ろうけん隅田秋光園

所在地：東京都墨田区横網2-7-13

電話：03-5610-1235

交通：JR総武線『両国駅』から徒歩8分
都営大江戸線『両国駅』から徒歩5分

平成23年度事業報告

理事会 開催 4 回

第1回理事会 平成23年 7月：第12回表彰式式典、総会について

第2回理事会 平成23年12月：第13回表彰者の検討

第3回理事会 平成24年 1月：「母子と助産師の碑」について

第4回理事会 平成24年 5月：第14回表彰者の検討

主な活動報告

平成23年 7月 平成23年度総会、第12回村松志保子賞等表彰式
場所：墨田区役所1階（ミニシアター）

平成23年 7月 会報誌発行6号（7月発行）

平成24年 1月 村松志保子氏墓参り（谷中墓地）

平成24年 3月 「すみだ やさしいまち宣言」イベント参加

南野知恵子会長、岡本喜代子書記長

平成24年 5月 「母子と助産師の碑」除幕式

平成24年 6月 第13回村松志保子賞等表彰（郵送の部発送）

顕彰会活動報告



第12回村松志保子助産師顕彰会式典 春の部受賞のみなさま

第12回村松志保子賞等表彰式
会場：リバーサイドホール1階ミニシアター
受賞者代表ごあいさつ

記念講演 1 「村松志保子先生と私の歩んだ道」 広瀬綾子氏
記念講演 2 「これからの助産師さんに望むこと」 森山弘子氏
記念講演 3 「親子2代の助産院活動を振り返って」 大平純子氏

第13回村松志保子助産師顕彰会 郵送の部受賞のみなさま



南野会長の挨拶で式典開始！ 桶谷様からお祝いのお花



感謝状
山崎昇（墨田区長）

精励賞
松本由美子（地域母子支援活動）
小堀宗子（地域母子支援活動）
高橋令子（地域母子支援活動）
佐々木美幸（地域母子支援活動）
菅谷厚子（地域母子支援活動）

特別賞
加藤巴子（地域母子支援活動）
氷上球紀（地域母子支援活動）
増子恵美子（地域母子支援活動）
路野富子（地域母子支援活動）
野口みち子（地域母子支援活動）

村松志保子賞
廣瀬綾子（地域母子支援活動）
小櫃美智子（母子支援活動）
森山弘子（母子行政・助産師教育）
大平純子（地域母子支援活動）
柏悦子（地域母子支援活動）
古園井恭美（地域母子支援活動）
水谷喜代子（助産師教育）
山崎トヨ（助産師教育）
井口久恵（地域母子支援活動）
（母乳育児・地域母子支援活動）

平成二十三年第十二回
村松志保子助産師顕彰会表彰者

精励賞
山本弥生（地域母子支援活動）
松下きよ子（地域母子支援活動）
宮里直美（地域母子支援活動）

一般社団法人宮城県助産師会（災害時地域母子支援活動）
一般社団法人福島県助産師会（災害時地域母子支援活動）
一般社団法人岩手県助産師会（災害時地域母子支援活動）
一般社団法人宮城県助産師会（災害時地域母子支援活動）
一般社団法人福島県助産師会（災害時地域母子支援活動）
一般社団法人岩手県助産師会（災害時地域母子支援活動）

静岡県助産師会子育て・女性健康支援センター（地域母子支援活動）
岐阜県助産師会子育て・女性健康支援センター（地域母子支援活動）
岐阜県助産師会子育て・女性健康支援センター（地域母子支援活動）
岐阜県助産師会子育て・女性健康支援センター（地域母子支援活動）
岐阜県助産師会子育て・女性健康支援センター（地域母子支援活動）

群馬県助産師会子育て・女性健康支援センター（地域母子支援活動）
群馬県助産師会子育て・女性健康支援センター（地域母子支援活動）
群馬県助産師会子育て・女性健康支援センター（地域母子支援活動）
群馬県助産師会子育て・女性健康支援センター（地域母子支援活動）
群馬県助産師会子育て・女性健康支援センター（地域母子支援活動）

特別賞
（故）楠本イネ（地域母子支援活動）
（故）津久井磯（地域母子支援活動）
（故）高橋瑞子（地域母子支援活動）
（故）橋野力子（地域母子支援活動）
井上博子（地域母子支援活動）
坂谷理恵子（地域母子支援活動）
笠松愛子（地域母子支援活動）
徳島大学病院バースセンター（先駆的助産活動）

村松志保子賞
岸田君子（地域母子支援活動）
坂口恵美子（地域母子支援活動・母乳育児支援）
山本貞子（地域母子支援活動）
長川トミエ（助産師教育）

平成二十三年第十三回（郵送の部）
村松志保子助産師顕彰会表彰者

コラム 詩人「金子みすず」[1903-1929]

～わたしと小鳥とすずと～

わたしが両手をひろげても、
お空はちっともとべないが、
とべる小鳥はわたしのよう、
地面（じべた）をはやくは走れない。

わたしがからだをゆすっても、
きれいな音はでないけど、
あの鳴るすずはわたしのよう、
たくさんのうたは知らないよ。

～こころ～

おかあさまは
おとなで大きいけれど
おかあさまのこころはちいさい

だって、おかあさまはいいました、
ちいさいわたしでいっぱいだって

わたしは子どもでちいさいけれど、
ちいさいわたしのこころは大きい

だって、大きいおかあさまで



感謝状
（故）武弘道（産婦人科医療・地域母子保健活動）
澤田敬（子ども虐待防止活動）
竹内徹（新生児・小児医療・母子関係推進活動）
小野利夫（地域母子保健活動・自然分娩推進活動）
渡木邦彦（産婦人科医療・地域母子保健活動）
桂良太郎（国際母子支援活動・助産師教育支援）
松田静治（産婦人科医療・遺伝相談活動）
堀口貞夫（産婦人科医療・助産師活動・教育支援）
堀口雅子（産婦人科医療・助産師活動・教育支援）

第12回村松志保子助産師顕彰会式典 春の部 受賞のみなさま

会場：墨田区役所「リバーサイドホール1階ミニシアター」



記念講演の概略を掲載いたしました。
(文責：嶋村)



記念講演



記念講演 1 「村松志保子先生と私の歩んだ道」 広瀬 綾子 先生

広瀬助産院の4代目として、65年間助産師として歩んできた。

地域の中で開業していることで、地域の中での学びが多くあり、病気で寝込んだこともなく、苦しくて辞めたいと思ったこともなく、生涯地域の助産師として生きてこられたことが感慨深い。

また、真の優しさを持つ村松志保子先生の功績は、130年前のことではあるが、現代に通じるものがあり、村松志保子助産師顕彰会の初代会長として務められたことが、大変栄誉なことであった。

記念講演 2 「これからの助産師さんに望むこと」 森山 弘子 先生

助産師の叔母の仕事ぶりを見ていて、良い仕事だなと無意識の中で助産師になると決めていた。臨床に入ってから医師と助産師の協働を学び、厚生労働省における助産師教育カリキュラム改正に関わり、リプロダクティブヘルス/ライツにおける役割を助産師が推進していくべきと思うに至る。

医学の進歩、社会の変化があり、医療保証が高まる中で、チーム医療の中での助産師の役割が高まってきている現在、私たち助産師は、村松志保子姉のように、母子のためにしっかりと頑張っていかなければならないと、受賞にあたり改めて思う。

記念講演 3 「親子2代の助産院活動を振り返って」 大平 純子 先生

助産院の長男に嫁ぐことによって、子育てしながら義母の教え通りに働き、知らないうちに全て教え込まれていたもので、義母の知恵と囑託医の教えにより、義母の死後も独り立ちに自信が持て、困ることなく二代目の助産院を引き継ぐことができた。しかし、母子の命を守らなくてはならないという悲壮感にも似た母子の無事を祈る日々であった。その中で、胎盤早剥で搬送先がなかなか見つからなくて、児が死亡するという生涯忘れることのできないお産を経験した。その後、OGCS（大阪における産婦人科診療相互援助システム）に直接助産師が連絡できるようになり、安心してお産ができるようになった。

多くの人々に支えられながらあることを忘れず、義母の教えを常に心に留め、日々変化する社会情勢の中を、真摯な態度で誠実に生きてゆきたい。



平成24年5月26日に、村松志保子助産師顕彰会の念願の“母子と助産師の碑”の除幕式を無事挙行いたしました！ 除幕式当日はマスコミ各社の取材もあり盛大に開催！
 建立場所は、愛媛県伊予郡にある日本で唯一の産婆乳母の祖神の高忍日賣（たかおしひめ）神社です。



“母子と助産師の碑”除幕式



“母子と助産師の碑”は、あらゆる母子の生命に対して、哀悼の意を表すと共に、母子とその家族や女性のリプロダクティブヘルス/ライツの支援活動を生涯実践した先輩助産師への敬意と感謝の意を捧げ、世界中の全ての母子と家族に幸福が、また世界中に平和が到来することを願い建立いたしました。

毎年3月8日を「母子と助産師の日」と定め、
 助産師の有志がこの地に集い、
 失われた母子の生命に深い哀悼の意と、
 先輩助産師のご遺功に感謝を
 表わしていきたいと考えています。

会員の皆様、高忍日賣神社にぜひお訪ねいただき
 “母子と助産師の碑”をご覧ください。

みなさま♪
 来年3月8日に松山でお会いしましょう！



絆

高忍日賣（たかおしひめ）神社の境内にある「連理の枝」です。
 それぞれの2本の木の枝どうしが、つながってしまった不思議な絆の木です！



「村松志保子助産師顕彰会」入会のご案内

【入会の方法】

本会の活動趣旨に賛同される方ならどなたでも入会できます。
 所定の入会申し込み用紙で申し込み、入会費及び会費の
 納入確認後、会長が入会を承認いたします。

入会金：5,000円 年会費：5,000円

【お問い合わせ先・入会用紙送付先】

「村松志保子助産師顕彰会」事務局
 住所：〒192-0914 東京都八王子市片倉町1181-
 電話・FAX：042-635-7117

Eメール：otafuku-o@nifty.com.jp

【会費等振込先】

口座名：村松志保子助産師顕彰会
 口座番号：郵便貯金 総合通帳



お知らせコーナー

—♪日本助産師会に行きましょう♪—

- ・保健指導室 勉強会（第1火曜日午後）
- ・楽しい子育て・孫育て講座（第1金曜日午後）
- ＊場所は東京本部になります。



会員のみなさま

今年の夏も、東日本大震災に伴う電力節減対策が続いていますが、
 体調など崩されませんように。みなさま、お身体ご自愛のほど、どうぞお
 元気で過ごしてくださいませ。

お願い

当会では、みなさまの素敵なご活躍の声をお寄せいただき、会報で
 ご紹介したいと思います。また、現在ご活躍されている方や歴代のお産
 婆（助産師）さんをご存知の方など、みなさまからのご連絡をお待ちして
 おります。

